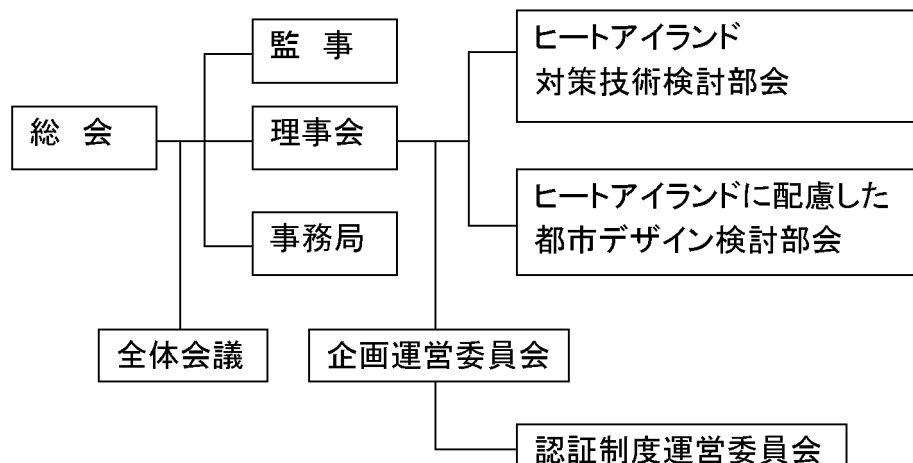


平成22年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成23年4月1日時点)

理事長	水野 稔(大阪大学名誉教授)
副理事長	野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)
理事	森山 正和(摂南大学教授)
	池上 俊郎(NPO 法人エコデザインネットワーク理事長、京都市立芸術大学教授)
	泉 正博(関西電力株式会社執行役員環境室長)
	加賀城俊正(大阪ガス株式会社CSR・環境部長)
監事	西山 潤二(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)
	松本 高秋(大阪市環境局環境施策部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成22年5月12日)、理事会(同6月4日)、総会(同6月4日)を開催し、理事会及び総会では、平成21年度事業報告、同収支決算、平成22年度事業計画・予算計画、理事の選任、理事の再任及びヒートアイランド対策技術認証制度実施要綱について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成23年1月19日)を開催し、検討部会の進捗状況及び認証制度運営委員会の検討状況などについて議論した。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナーを開催した。

○公開セミナー(平成22年6月4日)

<内容>

①テーマ:『高反射塗料とヒートアイランド対策について』

講師:森山正和(摂南大学教授、神戸大学名誉教授)

<大阪HITEC理事、ヒートアイランド対策技術検討部会長>

②テーマ:『ヒートアイランドの実態から見た対策技術』

講師:宮崎ひろ志(関西大学専任講師)

<参加者>

100名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

高反射率塗装、高反射率防水シート、保水性舗装、外断熱及び住宅屋根材の評価シートをWG及び四つのサブWG(高反射率塗料、保水性舗装、外断熱、住宅屋根材)において検討し、その素案について意見交換を行った。

○第19回会合:平成22年7月1日

<内容>

①情報提供

②保水性舗装サブWGの進捗状況について

③外断熱SWGの2009年度の活動概要と2010年度の活動方針について

④住宅屋根材SWGの進捗状況について

○第20回会合:平成22年9月16日

<内容>

①保水性舗装SWGの進捗状況について

②外断熱SWGの進捗状況について

③高反射率塗料SWGの設置について

④情報提供

○第 21 回会合:平成 22 年 11 月 25 日

<内容>

- ①保水性舗装SWGの進捗状況について
- ②外断熱SWGの進捗状況について
- ③高反射率塗料SWGの進捗状況について
- ④情報提供

○第 22 回会合:平成 23 年 1 月 26 日

<内容>

- ①保水性舗装SWGの進捗状況について
- ②外断熱SWGの進捗状況について
- ③高反射率塗料SWGの進捗状況について
- ④情報提供

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

都市内の人工排熱処理とその利活用についての検討などを行った。

特に、平成 22 年度は、下水熱の有効活用をテーマとして、都市域でのヒートアイランド対策、排熱利用の促進、温室効果ガスの削減に向けた「熱利用による下水の付加価値創造SWG」を新たに設置し、事例紹介や意見交換を行った。

○熱利用による下水の付加価値創造SWG 第 1 回会合:平成 22 年 6 月 10 日

<内容>

- ①講演 1
「東京都下水道局における熱事業の概要」
東京都下水道局計画調整部副参事 井上 潔
- ②講演 2
「『大規模下水熱利用』導入事例とその運用実績について」
東京下水道エネルギー株式会社技術課長 佐藤 隆次

○熱利用による下水の付加価値創造SWG 第 2 回会合:平成 22 年 9 月 22 日

<内容>

- ①大阪市域における下水流量と温度データ観測事例の紹介
- ②下水熱利用に適したヒートポンプ製品の紹介

○熱利用による下水の付加価値創造SWG 第 3 回会合:平成 23 年 2 月 15 日

<内容>

- ①大阪市の下水道と管更生工事について
- ②下水熱利用事例の紹介
- ③大阪市域における下水流量と温度データ観測事例の紹介

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術を検討した。

特に本年度は、昨年度に実施した『「水」を活用した道路を冷ます技術(クール・

ロード)のアスファルト地への散水実験』に係る効果測定結果報告と、堺市が堺浜で実施している類似の対策技術の紹介を併せて行い、本技術に係る今後の連携をWG参加の大阪府、大阪市、堺市、枚方市、東大阪市の道路・環境部局等に提案した。

○第13回会合:平成22年12月10日

<内容>

- ①クール・ロードSWGにおける「水」を活用した道路を冷ます技術の開発と、アスファルト地への散水実験とその検証について
- ②堺浜再生水送水事業について

【熱負荷評価手法WG】

昨年度に開発した大気熱負荷簡易評価モデル(プログラム①)の改良を行い、一応の完成版とした。また、個々のヒートアイランド対策技術ごとに熱負荷削減効果が定量的に評価できるよう、計算プログラム(プログラム②)の整備を行った。また、モデルの活用に向けたワークショップの開催について検討した。

○第6回会合:平成22年11月2日

<内容>

- ①熱負荷評価簡易モデルの現状について
 - ・プログラム①:平成21年度版から改良が加えられ、一定の完成をみた。
 - ・プログラム②:大気熱負荷計算プログラム(鳴海先生作成)の適用条件等について、意見交換を行った。
- ②熱負荷評価簡易モデルの活用に関するワークショップについて
 - ・内容は、標準的なデータの入力および具体的な建物データの入力による計算および議論を行う。
 - ・あわせて講師による講演会を開催。

開催時期については、年度末は多忙で参加者が集まりにくいいため、23年度初期が適当

【都市デザインWG】

平成21年度実施した『ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ』の成果の有効活用を行った。また第2回『ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ』の平成23年度に向けての検討・作業を行った。

大阪府の行う「大阪府みどりの風促進区域」について、大阪府環境農林水産部みどり戦略PTと意見交換を実施、また、ヒートアイランド対策技術を持つ企業に参加頂き、様々な設置例の紹介をしてもらい、都市デザイン面について意見交換を行うなど、自治体・企業との連携を図った。

○第10回会合 :平成22年10月6日(水)

<内容>

- ① 都市デザインとヒートアイランド対策技術の融合について
- ② 第2回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」に向けての検討
- ③おおさかATCグリーンエコプラザセミナーに参加・WGの2名がヒート対策の講演を実施

I. 基調講演「大阪のヒートアイランドの現状と対策技術としての都市デザイン」

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 増田昇
Ⅱ. 講演「大阪市のヒートアイランドの現状と対策」
大阪市環境局環境施策部 鬼頭敬一

コンペ検討委員会の開催

○第6回コンペ検討委員会:平成22年7月9日(金)

<内容>

- ①講演「コンペ作品を活かした熱都市リノベーションと、地球温暖化対策へのアプローチ」大阪ガス(株) 森吉裕志
- ②コンペ受賞作品紹介
「DRY/WET DRY/WET DRY/WET」(株)大林組 荒井庸行
「ヒートアイランド抑制アイランド」 関西電力(株) 木虎久隆
- ③ 第2回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の検討

○第7回コンペ検討委員会:平成22年12月2日(木)

<内容>

- ① 第2回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の検討
- ② 「大阪府みどりの風促進区域」および大阪の緑化施策についての検討

○第8回コンペ検討委員会:平成23年3月16日(水)

<内容>

- ① 第2回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の検討

(4) 認証制度運営委員会

企画運営委員会の下に認証制度運営委員会を設置して、認証制度の実施に向けた具体的な方策について議論した。

○第1回会合:平成23年1月19日

<内容>

- ① 認証制度実施要綱について
- ② 制度イメージ
- ③ スケジュールイメージ

○第2回会合:平成23年3月15日

<内容>

- ① 認証対象技術に係る素材関連WGからの提案
- ② 認証制度実施要領の作成について

(5) 部会活動等の周知

循環型社会づくりをめざす最新の環境ビジネスを広く紹介する「おおさかATCグリーンエコプラザ」内のエコプロダクツゾーンに常設展示ブースを出展し、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行うとともに、月毎に法人会員のシーズ紹介(PRパネルの展示、製品のディスプレイ及びパンフレットの配布)を行った。

▽出展期間:2010年7月1日～2011年6月30日

▽シーズ紹介法人会員

2010年7月	太陽セメント工業(株)
8月	太平洋プレコン工業(株)
9月	大日化成(株)
10月	(株)大高商会
11月	アーキヤマデ(株)
12月	日本興業(株)
2011年1月	住ベシート防水(株)
2月	(株)神清
3月	城見住研(株)
4月	城見住研(株)
5月	ケイミュー(株)
6月	(株)ベルテック

▽おおさかATCグリーンエコプラザの入場者等の状況

2010年7月の入場者人数	14,430人	、	団体見学数	33	団体
8月の入場者人数	23,524人	、	団体見学数	56	団体
9月の入場者人数	12,768人	、	団体見学数	48	団体
10月の入場者人数	14,110人	、	団体見学数	52	団体
11月の入場者人数	17,485人	、	団体見学数	58	団体
12月の入場者人数	17,893人	、	団体見学数	39	団体
2011年1月の入場者人数	11,457人	、	団体見学数	34	団体
2月の入場者人数	11,664人	、	団体見学数	35	団体
3月の入場者人数	19,788人	、	団体見学数	27	団体
4月の入場者人数	12,199人	、	団体見学数	25	団体

検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪HITEC NEWS Vol. 6』を平成22年12月20日に発行した。

さらに、おおさかATCグリーンエコプラザ主催の「エコデザインフェア」の開催に合わせて、ATCグリーンエコプラザ内企画展示ゾーンにおいて、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行うとともに、15法人会員による屋上の高反射率化、緑化、保水性ブロックなど様々なヒートアイランド対策技術を紹介する『法人シーズ紹介展』(平成23年1月21日、22日、来場者数:537人)を開催した。

(6)ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、ホームページを拡充・更新した。

(7)大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。